

学校だより

名古屋市立千早小学校
令和6年5月



本年度の「千早小学校努力点について」

本校では、できる・分かる授業づくりを目指してチームティーチング指導の充実と、漢字（かな）・計算の力の向上に重点をおいた取組を継続して行っています。

名古屋市教育委員会は、昨年9月に「ナゴヤ学びのコンパス」という新たな教育方針を策定しました。従来からの「自ら学ぶ力」の育成や、ナゴヤ学びのコンパスに示された「子ども中心の学び」にしていくためには、一人一人の学習状況を把握して、主体的な学びを引き出すことができるように支援していくことがより重要であると考えます。

そこで、本年度は、以下のような努力点のテーマを設定して、授業改善に取り組んでいきます。

どの子にも「できた」「分かった」という実感を

～主体的な学びを引き出すチームティーチングの工夫を通して～

【主体的な学びを引き出すために】

興味・関心や生活経験、学習速度などの個人差（個性）に応じて、目的や場面を明確にして、学習活動を工夫します。

【効果的なチームティーチングにするために】

一人一人に応じた支援方法や内容、役割分担を明確にしたチームティーチングを行います。

人権教育の取り組みについて

本校では「命を大切にし、ともに生きようとする子」を目標として、人権教育を基盤としたふれあい活動に長期間継続して取り組んでいます。今年度も次のようなねらいを重点としていきます。

- 自分と友達との違いを認め、尊重しようとする気持ちを育てる。
- 相手の気持ちを考えて、自分と同じように大切にしようとする気持ちを育てる。

自分も友達も大切に思うことで、思いやりの心やお互いを尊重しようとする態度が、さらに見られるようにしていきたいと思えます。

（裏面の内容もご覧ください）